

## 保育の質を高める「めざめ保育士」プロジェクト！

応募チーム名：めざめ保育士応援隊 自治体：滋賀県草津市

### （特徴）

草津市は、恒常的に待機児童が発生していて、保育の担い手である保育士不足に直面している。滋賀県全体では、県内の 19 自治体のうち 18 自治体で保育士が不足している（保育士不足問題は人口増加だけが原因ではなく、職場環境、生活環境、価値観などの要素が絡んでいる）。このチームは Code for Kusatsu と保育士のグループで、そのアイデアは、以下の二つの要素から成り立っている。つまり①保育士にな



りたい潜在保育士と保育士不足に悩む保育施設（公立私立小規模なども含む）とのマッチングを手掛けるサイト「めざめ HOIKU」の構築、②さらに進んで保育士の働きやすい環境（雇用契約やライフスタイル）、保育に関する地域とのかかわり方などを検討し発信していく「めざめ HOIKU 委員会」の発足である。

### （アドバイス）

#### 1. できるところから小さく始める。

充実した保育施設や地域での保育環境は、これからますます重要となります。その際、保育士は専門職として欠かせません。本件はこのため、地域的にも全国的にも先駆けて活動を始めようとするものですが、転ばぬ先の杖として、当面できるところから実績を積み上げていく、そんな進め方を期待しています。

#### 2. マッチングサイトの比較優位を考える。

この観点でまず手掛けられるのは「めざめ HOIKU」サイトだと思いますが、単なる需要と供給のマッチングだと、既存の民間のサイトと変わらず、もう一段の魅力をつけるには、サイト運営と並行して、潜在保育士の集まりである強みを生かした需要と供給の間に立ったコンサルジュ機能、さらには相談機能も含んだ展開の可能性をさぐっていただけたらと思います。その際、ユーザーニーズに徹したデザイン思考による取り組みも良いかと思います。

#### 3. 「めざめ HOIKU 委員会」の活動の手順をはっきりさせる。

応募資料のガントチャートには、日程とワークショップが具体的に決められていますが、そこで何を狙いとして、どういう手順で進めていくのが良いのか、この委員会の目標との関連で手堅く進められることがよいかと思います。当面は例えば、マッチングサイト「めざめ HOIKU」に絞って、そのアイデアの深堀りと検証の場にされていくのも一案かと思います。

#### 4. 大津市の応募プロジェクト「E-ほいくプロジェクト Lab.」との連携を図る。

「E-ほいくプロジェクト Lab.」は保育士が働く保育施設での職務環境の改善を目的としたものであり、この「めざめ保育士」プロジェクトと対をなすものとも言えます。両者があい携えて進んでいくことを期待します。そして、時期を見て草津市と大津市の自治体間の協力も期待したいところです。

#### 5. 市役所への期待

このプロジェクトの成功は、子育て政策の充実なるばかりではなく、市民ニーズをもとにした市役所と市民の協働による新たなプロジェクトの発掘と進め方の手本ともなると思います。「めざめ HOIKU 委員会」への参画などを通じて協働の質をさらに高めていただければ素晴らしいと思います。